

M-SA-45

耐食・耐熱・耐摩耗用

用途

高温バルブ・鍛造型・ローラ・ブロー等、耐食・耐熱を必要とする部品。

使用特性

1. M-SA-45 は Ni 基超耐熱合金で、時効硬化能の高い Al-Ti を含有するために、適切な熱処理を施せば肉盛金属の硬さの上昇が得られます。
2. 熱間硬さにおいては時効処理温度付近まで肉盛金属の硬さ低下は緩やかです。
3. 高温領域での機械的性質に優れています。

作業要領

1. 予熱温度及びパス間温度は 100 ～ 200℃程度に保って下さい。
2. 時効処理は 760℃で 4hr 程度が適当です。

溶接材料の化学成分一例 (%)

主要成分系
Ni-Cr-Mo-Co-Al-Ti+特殊元素

溶着金属の硬さ(溶接のまま及び熱処理)

熱処理条件	HV
溶接のまま	270～300
760℃×4hr	380～410

適正溶接条件(DCワイヤ+)

ワイヤ径	mm	溶接電流	A	突出長さ	mm	シールドガス	ℓ/min
1.6		280～320		20～25		Ar	20～25